

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 論理国語 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|----------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 大修館書店『新編論理国語』[論国706] |
| 3 | 必修 | 2 | 60 | 補助教材 | 『新編論理国語 学習ノート』 |
| 授業の概要 | | 創造的・論理的思考力を育成する科目として、実社会において必要となる、論理的に書いたり批判的に読んだりする資質・能力を育成する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 漢字の読み書きをはじめ、高校生に必要な語彙力を身につけている。 論理的な文章を書いたり、批判的に読んだりすることができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|------|--------|-------|------|--|-----|
| | 授業姿勢 | 活動観察 | ワークシート | 学習ノート | 課題提出 | | 合計 |
| 知識・技能 | | | 30 | | 70 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | | | 30 | 70 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 50 | 50 | | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | | |
|------------|-----------------|--|-------|----------|---------|---|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 | |
| 4月 | 志望先への提出書類 | 志望理由書や自己推薦書を書くために必要となる語句を調べ、語彙を書かにする。 進路活動に必要な書類の情報を収集、整理して、必要となる書類を把握する。 進路で必要とされる書類について、積極的に知る。 | ○ | | ○ | ○ |
| 5月 | 自分を客観的に見つめよう | 自分のこれまでの経験と、そこから得たことを適切にまとめる。 自分自身を客観視した上で、その結果を自己分析シートに盛り込む。 積極的に自己分析シート作りに取り組み、客観的に自分自身を見つめる。 | ○ | | ○ | ○ |
| 6月 | 根拠を吟味しよう | 主張を支える具体例の妥当性や因果関係について理解する。 主張と根拠の関係を吟味する。 積極的に学習に取り組み、教科書の文章における主張と根拠の関係を吟味する。 | ○ | | ○ | ○ |
| 7・8月 | 複数の文章を比較し、分析しよう | それぞれの文章の内容をふまえて、共通点や相違点をまとめる。 3つの文章を読んで、その共通点や相違点をまとめ、自分なりに考えたことを書く。 複数の文章を読み比べ、それぞれの文章の共通点・相違点などを分析する。 | ○ | | ○ | ○ |
| 9月 | 話し合って考えを深めよう | 自分の立てた問いに合致するかという視点で、収集した情報を取捨選択する。 相手の意見を聞き、自分が興味を持ったテーマを調べるための問いを立てる。 関心を持ったテーマについて、問いを立て、調査をおして自分の考えを広げる。 | ○ | | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|----------------------------|--|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 身近な課題に取り組み、社会に提言しよう | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | | ○ |
| 11月 ・ 12月 ・ 1月 | 問いを立てて書こう — テーマ型小論文 文章を読んで書こう — 課題文型小論文 統計資料を読んで書こう — データ型小論文 | 課題文の内容と自分の主張との関連を示しながら、考えを展開する方法を理解する。 課題文への自分の立場や論点を明確にし、適切な根拠を示す。 これまでの「書くこと」の学習をもとにして、課題文からの的確に論点を見だし、自分の主張を展開する。 | ○ | | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 文学国語 |
|----------------|-------|--|-----|-------|----------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 大修館書店『新編文学国語』[文国705] |
| 3 | 必修 | 2 | 60 | 補助教材 | 『新編文学国語 学習ノート』 |
| 授業の概要 | | 文学的な感性や情緒を育成する科目として、深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力を育成する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 漢字の読み書きをはじめ、高校生に必要な語彙力を身につけている。 筆者の考え方や登場人物の心情を理解して、自分の思いや考えを深めることができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|-------|------|--------|------|-----|
| | 授業姿勢 | 活動観察 | 小テスト | 単元テスト | 課題提出 | ワークシート | 定期試験 | 合計 |
| 知識・技能 | | | 20 | 30 | | | 50 | 100 |
| 思考・判断・表現 | | | | | 20 | 30 | 50 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 50 | 50 | | | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---------|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | さくら日和 | 表現の工夫に着目し、主題を読み取る。 ジグソー法を用いて、読みを深める。 ジグソー法を用いて、読みを深める。 | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | クルミの小部屋 | 筆者の表現や家族の言動から、心情の機微を想像する。 特徴的な文体や工夫を適切に抜き出し、筆者とその家族の心情の機微を理解する。 随想の分析を通して、表現の工夫と効果を理解し、心情の機微をとらえる。 | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 桐壺 | 本文を読むことを通して、宮中での身分社会について理解する。 光源氏誕生の前後に周囲がどのような状況であったか理解する。 当時の女性貴族の身分・階級について確認し、「ましてやすからず」の理由を考える。 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 待合室 | 本文中の常用漢字や語句の意味を理解する。 登場人物の人物像をそれぞれ読み取る。 内容や登場人物の言動などについて自分の意見や感想を書く。 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 山椒魚 | 翻訳調で漢語を多用した独特の文体で表現されていることを理解する。 時間の経過とともに山椒魚の気持ちが変わるようになっていくか読み取る。 寓話という表現形式に関心をもち、その特徴や効果について理解する。 | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|--------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 四面楚歌 | 作品を通して「四面楚歌」の意味を理解する。 項王の置かれた状況と心情を、具体的な描写をふまえて読み取る。 項王が漢詩に込めた心情を読み取る。 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 私たちの黄色/タイムリミット | 文章の種類や特徴などを把握し、辞書的な語句の意味を理解する。 3つの話それぞれの内容を理解し、3編全体が一つの話であることを把握する。 共通点と相違点に関心をもつとともに、「タイムリミット」の二人の心情を理解する。 | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 共感と驚異 短歌・俳句に親しむ | 人を感動させる短歌には、共感と驚異の要素が必要であることを理解する。 筆者がどのように短歌を解釈しているか、具体的な描写を確認する。 筆者の分析の観点をふまえ、短歌のどのような点が人を感動させるのかを考える。 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 地理歴史 | | 科目名 | 日本史探究 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|-------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 高等学校 日本史探究(第一学習社) |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | 日本史探究ノート (第一学習社) |
| 授業の概要 | | 日本の歴史のおおよその流れを理解し、基礎・基本的な内容を身につける。あわせて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題追求する活動を通して公民としての資質・能力を育成する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 複数の歴史的な事象を比較して、その歴史的背景、原因、影響や結果を整理し、考察できるようにする。 過去の事象を学ぶことによって現代の課題を解決する手がかりを見つけ、自分なりの見通しを明らかにする。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 基本的な歴史用語を理解する読解力と文章を比較・検討して考察する力を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|-------|-----|------|--|--|-----|
| | 定期試験 | 単元テスト | 提出物 | 授業姿勢 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 90 | 10 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 10 | 20 | 10 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 40 | 30 | 30 | | | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|---------------------|-----------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 第3章 近世の日本と世界 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | 第3節 幕藩体制の展開 | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | 第4節 社会の変化と幕府の対応 | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 5月 | 第4章 近現代の地域・日本と世界 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | 第1節 近代への転換 | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | 第2節 近代国家の形成 | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 6月 | 第3節 国際関係の推移と近代産業の発展 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 7・8月 | 第3節 国際関係の推移と近代産業の発展 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 9月 | 第4節 第一次世界大戦と日本 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|------------------------------|-----------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第5節 軍部の台頭と戦争の長期化 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 11月 | 第6節 日本の再建 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 12・1月 | 第7節 経済の発展 第8節 経済大国とグローバル化 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 公民 | | 科目名 | 政治・経済 |
|----------------|-------|--|-----|-------|---------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 最新政治・経済(実教出版) |
| 3 | 必修 | 3 | 90 | 補助教材 | なし |
| 授業の概要 | | 基本事項をしっかり理解するとともに、現実の社会の出来事を原理・原則と比較して理解した上で、懐疑的な見方ができる能力をつけさせる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 参政権を持つ公民として時事問題に目を向け、主体的に理想や理論・価値観を構築することができる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 様々なメディアにてでてる言葉の意味を理解し、意識的にニュース(新聞・テレビなど)に興味を持つ主体性をもつ。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|------|------|--|-----|
| | 授業姿勢 | 課題提出 | 活動評価 | 定期試験 | | 合計 |
| 知識・技能 | | 50 | | 50 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | 50 | 50 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 50 | | 50 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|-------------------------|--------------------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 民主政治と法 | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 民主政治の基本原理 世界のおもな政治制度 | グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 日本国憲法の基本原則 | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 自由に生きる権利 平等に生きる権利 | プレゼンテーション グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 社会権と参政権・請求権 | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 新しい人権 平和主義と自衛隊 | グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 政治機構と国会 | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 | プレゼンテーション グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 地方自治と住民福祉 | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 政党政治 選挙制度 | グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|------------------------|--------------------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 経済主体と市場の働き | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 企業の役割 金融の役割 | グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 日本銀行の役割 | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 財政の役割と租税 日本経済の成長と課題 | プレゼンテーション グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 中小企業と農業 | ワークシート 講義を聞くこと | | ○ | ○ |
| | 消費者問題 労働問題と労働者の権利 | グループワークに参加すること 単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 数学 | | 科目名 | 数学B |
|--------------------|-------|--|-----|-------|---------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 最新 数学B(数研出版) |
| 3 | 必修 | 2 | 60 | 補助教材 | 3ROUND 数学II+B(数研出版) |
| 授業の概要 | | 1年間通して、数学Bの第1章 数列、第2章 統計的な推測 の2領域を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。 | | | |
| 学習到達目標 | | 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 数列や統計の学習を通して数式の活用や規則性について考える。数学的な見方や考え方を探究し続けるとともに、ノートやプリント演習など作業に集中して取り組む主体性を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|---------|------|-------|-----|
| | 定期試験 | 小テスト | レポート・課題 | 授業姿勢 | ノート記入 | 合計 |
| 知識・技能 | 90 | 10 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 10 | 20 | | 10 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | 30 | 30 | 20 | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 第1章 数列 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・等差数列の一般項、和を求められる | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 4. 等比数列 5. 等比数列の和 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・等比数列一般項、和を求められる | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 6. 和の記号Σ 7. 自然数の2乗の和 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・Σの計算ができる | | ○ | ○ |
| 7・8月 | 8. いろいろな数列の和 9. 階差数列 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・階差数列の一般項を求められる | | ○ | ○ |
| 9月 | 第2節 漸化式と数学的帰納法 10. 漸化式と一般項 11. 数学的帰納法 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・漸化式から一般項を求められる | | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|--|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値 3. 分散と標準偏差 4. 二項分布 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・確率分布を求め、期待値を求められる | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 5. 二項分布と期待値・分散・標準偏差 6. 連続型確率変数 7. 正規分布 8. 2項分布の正規分布による近似 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・2項分布や正規分布について理解する | | ○ | ○ |
| 12・1月 | 第2節 統計的な推測 9. 母集団と標本 10. 標本分布の平均 11. 母平均の推定 12. 母比率の推定 13. 仮説検定 | ・説明・問題演習・板書 ^ アワーク・グループワーク・調べ学習 ・母集団や標本分布から母平均・母比率を求められる ・仮説検定を理解する | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 保健体育 | | 科目名 | 体育 |
|----------------|-------|---|-----|-------|-----------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 現代高等保健体育(大修館書店) |
| 3 | 必修 | 2 | 60 | 補助教材 | |
| 授業の概要 | | 様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける | | | |
| 学習到達目標 | | 各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組むことができる。自主的・自律的に集団行動をとることができる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 集団および個人の技能伸長をはかるための主体性と探究心。継続的な取り組みや集団での協働を通して醸成される自己肯定感。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|--------|-------|--------|--|--|-----|
| | 活動観察 | スキルテスト | ノート記入 | グループ学習 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 30 | 40 | 20 | 10 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 30 | | 40 | 30 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 30 | | 30 | 40 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|--|-----------------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ○オリエンテーション ○体づくり運動 ○集団行動 | ペアワーク・グループワーク ワークシート | | ○ | ○ |
| 5月 | ○新体カテスト | ペアワーク・グループワーク | | ○ | ○ |
| | ○陸上競技 I (短距離走、長距離走) | スキルテスト・記録会 | ○ | | ○ |
| 6月 | ○選択 I 球技(サッカー・バドミントン・テニス・卓球) 武道(柔道) | グループワーク 実技 学習ノート スキルテスト | ○ | ○ | ○ |
| | ○ダンス (現代的なリズムのダンス) | グループワーク・ディスカッション 発表会 ワークシート | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | | グループワーク 実技 | ○ | ○ | ○ |
| 9・10月 | ○選択 II 球技(バレーボール・バスケットボール バドミントン・卓球) | 学習ノート スキルテスト | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---|----------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 11月 | ○選択 III 球技(バレーボール・バスケットボール バドミントン・卓球) | グループワーク 実技 | ○ | ○ | ○ |
| | | 学習ノート スキルテスト | ○ | ○ | ○ |
| 12月 | ○体育理論 スポーツの歴史的發展と変容 スポーツの技術、戦術、ルールの変化 | グループワーク・ディスカッション ワークシート | ○ | ○ | ○ |
| 1~3月 | 家庭学習期間 | | | | |
| | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 外国語 | | 科目名 | 英語コミュニケーションⅢ |
|--------------------|-------|---|-----|-------|---|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | Power On English Communication Ⅲ (東京書籍) |
| 3 | 選択 | 4 | 120 | 補助教材 | |
| 授業の概要 | | 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする能力を伸ばす。 | | | |
| 学習到達目標 | | 日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報の概要や要点を目的に応じて捉えることができる。また、基本的な語句を用いて情報や考えを論理性に注意して伝えることができる。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|------|------|--|-----|
| | 定期試験 | 小テスト | Pテスト | 課題提出 | 授業姿勢 | | 合計 |
| 知識・技能 | 65 | 15 | 15 | 5 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 35 | | 50 | 15 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 25 | 30 | 25 | 20 | | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|---|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | L1 Library of the Future | 【文法】現在分詞の分詞構文 関係副詞where 【内容】理想の図書館について | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | L2 History Maker Otani Shohei | 【文法】現在完了進行形 be動詞+to不定詞 【内容】好きなスポーツ選手について | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | L3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals | 【文法】比較表現 使役動詞+原形不定詞 【内容】興味のある職業について | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | L4 Nature Photographer in Alaska | 【文法】関係代名詞の分詞構文 関係代名詞what、分詞構文 【内容】写真家の写真について | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | L5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think | 【文法】第5文型、過去完了進行形、受け身 【内容】イグ・ノーベル賞を受賞した研究について | ○ | ○ | ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|---|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | L6 Where Does Halloween Come from? L7 Why 3D Printing Technology Change the World? | 【ディスコスマーカ】「追加」 【内容】ハロウィンの商業主義 【ディスコスマーカ】「事実と意見」 【内容】3Dプリンタでの家の建築 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | L8 A Conductor of the Underground Railroad L9 English, Always Growing | 【ディスコスマーカ】「時間順序」 【内容】難民を救うためにできること 【ディスコスマーカ】「列挙」 【内容】最近日本語に入った言葉 | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | L10 Understanding the Culture of Dogs | 【ディスコスマーカ】「追加」 【内容】ペットを飼うならイヌ?ネコ? | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 外国語 | | 科目名 | 英語総合 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|------------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| 3 | 選択 | 4 | 120 | 補助教材 | BIG DIPPER English Communication I |
| 授業の概要 | | わかりやすい文章・内容を題材とし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を育成する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 基本的な文法力、語彙力を身につけ、本文の概要を捉え、内容を意識しながら本文を聞き取り、音読し、簡単な英語で自分の考えを表現する力の向上を目指す。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 自ら主体的に課題を見つけ、辞書やクロムブックを用いて調べ学習に取り組む力、言語活動を通して自分の考えを発信したり、異なった意見を聞く力を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|------|--|-----|
| | 定期試験 | 小テスト | Pテスト | 課題提出 | 授業姿勢 | | 合計 |
| 知識・技能 | 70 | 30 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | | 40 | | | | 100 |
| 主体的に取り組む学習態度 | | | | 70 | 30 | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | Lesson 1 Have a good day with Good Breakfast | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト 現在完了(経験)で自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | Lesson 2 A Mascot with a Mission | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト 不定詞・動名詞を用いて自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | Lesson3 Two Kinds of Leadership | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト 関係代名詞を用いて自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | Lesson4 Older Sports and Newer Sports | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト 最上級を用いて自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | Lesson5 AI Meets the Arts | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト It~ that~を用いて自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|--|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | Lesson6 What Is Happiness? | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト 関係副詞(when)を用いて自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | Lesson7 The Maldives: A Dream Destination? | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト SVOCを用いて自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | Lesson 8 Kazu Hiro: In pursuit of a Dream | ベーシックノート完成・小テスト Pテスト The reason why~を用いて自分の考えを表現する | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 外国語 | | 科目名 | 実用英語 |
|----------------|-------|--|-----|-------|------------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | なし |
| 3 | 必修 | 2 | 60 | 補助教材 | Step by Step 4 Skills 2 CEFR A2レベル |
| 授業の概要 | | 英語4技能をバランス良く扱い、コミュニケーション能力の向上を目指す。 書く能力は、英検準2級のライティング問題をベースに、複数の理由を元に一定の時間で50~60語の英文を書くことを目標とする。話す能力は、定型文を覚える(リビートする)ところから始め、最終的には初めて聞く(見る)文章やイラストについて動作と理由の因果関係を説明できるなど、実用的なやりとりができることを目標とする。授業以外でも、オンライン(classroom)での情報・課題確認、動画視聴等、能動的に情報を得ることが求められる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 本校Can-Doリストを参考に年度始めはCEFR(セファール)A1レベル中級からスタートし、最終的にはCEFR A2レベル(概ね英検準2級ギリギリ合格レベル)を目標とする。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | ・英語での説明 or 聞こえた(書かれた)英文に対する解答を導ける。 ※簡単な英語なら1回聞きでも ・(グループワーク・ペアワーク等を通し)自分の答だけでなく、他の答も参考にし、英語で話したり書いたりできる。 ・ICT機器を活用し、答えの根拠となることを掘り下げて説明できるなど、深い学びにつなげることができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|-----|------|----|-----|
| | 定期試験 | 小テスト | Pテスト | 提出物 | 授業姿勢 | | 合計 |
| 知識・技能 | 50 | 30 | | 20 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 50 | | 30 | | 20 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | | 30 | | 30 | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|---|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | オリエンテーション 1・2年生レベル定着度合の確認 CEFR A1レベルの問題を用いた英語力チェック テキスト Unit 1 | Can-Doリスト配布 4技能演習(教室での活動) 必要に応じTTやLL教室での活動 | | ○ | ○ |
| 5月 | Unit 1のつづき インプットの確認活動(1) | 小テスト 提出物 Wフォーマリスト(Pfist)ライティング 予定 | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | *(参考)第1回英検 前期中間試験 テキスト Unit 2 | 定期試験(含 リスニング) 4技能演習(教室での活動) 必要に応じTTやLL教室での活動 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | Unit 2のつづき インプットの確認活動(2) | 小テスト 提出物 Wフォーマリスト(Pfist)ライティング 予定 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 前期末試験 テキスト Unit 3 *(参考)第2回英検 | 定期試験(含 リスニング) 4技能演習(教室での活動) 必要に応じTTやLL教室での活動 Can-Do振り返り | ○ | ○ | ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|---|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 前期中定着度合の確認 CEFR A2レベルの問題を用いた英語力チェック Unit 3のつづき インプットの確認活動(3) | 4技能演習(教室での活動) 必要に応じTTやLL教室での活動 Wフォーマリスト(Pfist)スピーキング 予定 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | インプットの確認活動(3) つづき 後期中間試験 | 小テスト 提出物 定期試験(含 リスニング) | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | テキスト Unit 4・5 インプットの確認活動(4) *(参考)第3回英検 一年間のまとめ 後期末試験 | 4技能演習(教室での活動) 必要に応じTTやLL教室での活動 小テスト 提出物 Wフォーマリスト(Pfist)ライティング [レポート形式] 予定 Can-Do振り返り 定期試験(含 リスニング) | ○ | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 教養国語 |
|----------------|-------|--|-----|-------|----------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | プレゼミ総合国語(浜島書店) |
| 授業の概要 | | 辞書やIT機器を活用しながら、問題集での演習を通して語彙を増やしたり、目的や場に応じた言葉遣いや文体を身に付けたりすることで、表現する能力を向上させる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 言葉の持つ意味を正確に理解し、組み合わせながら自分の考えを的確に表現できる。現代用語や慣用語などを巧みに取り入れた効果的な表現ができる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | さまざまな場面で使用し得る基本的な語彙や言い回しを実用的に用いる力。主体的に学習ツールを用いて調べたり、まとめ伝える力。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|-----|-------|--|-----|
| | 小テスト | 授業姿勢 | 提出物 | 単元テスト | | 合計 |
| 知識・技能 | 50 | | | 50 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | | 50 | 50 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 25 | 50 | 25 | | | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|--------|---|---|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ・チェックリスト基本編(小テスト) 同音異義語・対義語 慣用語・ことわざ ・プレゼミ総合国語基本編(第1回～第4回) | 相手に伝えることを意識して、正しい字形でわかりやすい文章を書く。 辞書やIT機器を用い、語句の意味や使用方法を調べることで、語彙の理解と定着をする。 | | ○ | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| 5月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第2回 場にふさわしい言葉遣い(敬語表現) | 敬語表現を正しく理解し、使用する。 | | ○ | ○ |
| 6月 | ・チェックリスト必修編(小テスト) 熟語の読み書き、熟字訓 ・プレゼミ総合国語基本編(第5回～第8回) | 正しい筆順や楷書で文字を書き、正しい字形を身につける。 書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に生かす。 | ○ | | ○ |
| | | | | ○ | ○ |
| 7・8月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第3回 手紙の書き方I(暑中見舞い) | 様々な通信文の形式、形態について理解する。 | ○ | | ○ |
| 9月～10月 | ・チェックリスト完成編(小テスト) 同訓異字、難読語 ・プレゼミ総合国語必修編(第1回～第4回) | 辞書やIT機器を用い、語句の意味や使用方法を調べることで、語彙の理解と定着をする。 | | ○ | ○ |
| | | | | ○ | ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|---|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第4回電話の応対 | 場面にふさわしい言葉遣いを考える。適切な言葉遣いでロールプレイをする。 | | ○ | ○ |
| 11月 | ・チェックリスト完成編(小テスト) 四字熟語 ・プレゼミ総合国語必修編(第5回～第8回) | 正しい筆順及び楷書で文字を書くことで、正しい字形を身につける。 様々な通信文の形式、形態について理解する。 | ○ | | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| 12・1月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第3回手紙の書き方3(年賀状) | 言葉への興味・関心をもち、積極的に問題集に取り組む。 | | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 古典比較研究 |
|----------------|-------|--|-----|-------|--------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | |
| 授業の概要 | | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方から自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 | | | |
| 学習到達目標 | | 古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 目標を持ち、自らの意思で前向きに取り組むことができる。 与えられた課題や宿題などに進んで取り組み、不明な点を調べて解決できる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|--------|------|--|-----|
| | 授業姿勢 | 活動観察 | ワークシート | 課題提出 | | 合計 |
| 知識・技能 | | | 30 | 70 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | | 30 | 70 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 50 | 50 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---------------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 『世説新語』「浦島太郎」の変化を比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 『伊弉保物語』と『イソップ物語』を比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 『世説新語』漢楚抗争と三国時代を比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 『世説新語』漢楚抗争と三国時代の比較研究を発表する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理して発表する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考えて発表する。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つけ発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 『伊勢物語』「筒井筒」「東下り」を比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|-----------------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 『伊勢物語』「筒井筒」「東下り」を比較研究を発表する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理して発表する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考えて発表する。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つけ発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 『百人一首』「恋の歌」における男女の心理を比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 『三国志』「赤壁の戦い」を正史と演義で比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 理科 | | 科目名 | 物理 |
|----------------|-------|---|-----|-------|---------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 物理 新訂版(実教出版) |
| 3 | 選択 | 4 | 120 | 補助教材 | サンダイヤル ステップアップ物理 改訂版(啓林館) |
| 授業の概要 | | 教科書・問題集を中心に、実験・実習、小テストを行う。単元ごとに小テストを実施する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 物理的な事象・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解を深めさせ、科学的な自然観を見方や考え方を育成する。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 物理の基本的な法則を理解し、自然現象にあてはめて考えることができる。自らの考えを的確に表現できる。科学的な自然観を身につけている。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|-------|------|---------|------|-----|------|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | グループワーク | レポート | 提出物 | 自己評価 | 合計 |
| 知識・技能 | 60 | 40 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 20 | 10 | 10 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | 30 | 30 | 30 | 10 | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|--|-------------------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1 速度 2 加速度 3 落体の運動 | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | 第2章 運動の法則 1 カとそのはたらき | 小テスト | ○ | ○ | |
| 5月 | 第2章 運動の法則 2 力のつりあい 3 運動の法則 4 摩擦を受ける運動 5 液体や気体から受ける力 | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | 第3章 仕事と力学的エネルギー 1 仕事 | 小テスト | ○ | ○ | |
| 6月 | 第3章 仕事と力学的エネルギー 2 運動エネルギー 3 位置エネルギー 4 力学的エネルギーの保存の法則 | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | 第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1 熱と物質の状態 2 熱と仕事 | 小テスト 単元テスト | ○ | ○ | |
| 7・8月 | 第3編 波 第1章 波の性質 1 波と媒質の振動 2 重ね合わせの原理 | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | 第2章 音 1 音の性質 2 発音体の振動と共振・共鳴 | 小テスト | ○ | ○ | |
| 9月 | 第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 1 電気の性質 2 電気と電気抵抗 3 電気とエネルギー | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | 第2章 磁場と交流 1 電流と磁場 2 交流と電磁波 | 小テスト 単元テスト | ○ | ○ | |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|-------------|---------------------------------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第1章 さまざまな運動 | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト | | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | |
| 11月 | 第2章 波 | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト 単元テスト | | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | |
| 12・1月 | 第3章 電気と磁気 | プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト 単元テスト | | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | |
| 2月 | | | | | |
| | | | | | |
| 3月 | | | | | |
| | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 理科 | | 科目名 | 化学 |
|----------------|-------|---|-----|-------|-----------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 新編 化学(数研出版) |
| 3 | 選択 | 4 | 120 | 補助教材 | 新課程フォローアップドリル化学(数研出版) |
| 授業の概要 | | 理論化学・無機化学・有機化学についての内容を、実験を交えながら理解させる。また、補助教材等も活用し、基礎的・基本的な言葉の理解や計算ができるようにする。 | | | |
| 学習到達目標 | | 化学の基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。また、実験・観察を通して科学的な自然観を持ち、自然の事物・現象を分析的・総合的に考察する能力を育成する。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 無機物質や有機化合物、高分子化合物について、物質の構造や反応、性質を微視的レベルで考えることができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|-------|------|------|------|------|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | レポート | 課題提出 | 授業姿勢 | 合計 |
| 知識・技能 | 60 | 40 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 20 | 20 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | 20 | 30 | 30 | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---|------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 第4編 第1章 有機化合物の分類と分析 1 有機化合物の特徴と分類 2 有機化合物の分析 第4編 第2章 脂族炭化水素 1 飽和炭化水素 2 不飽和炭化水素 | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | |
| 5月 | 第4編 第3章 アルコールと関連化合物 1 アルコールとエーテル 2 アルデヒドとケトン 3 カルボン酸 4 エステルと油脂 第4編 第4章 芳香族化合物 1 芳香族炭化水素 2 フェニル類と芳香族カルボン酸 3 芳香族アミンとアゾ化合物 4 有機化合物の分離 | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | |
| 6月 | 第5編 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物 | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | |
| 7・8月 | 第2編 第1章 化学反応とエネルギー 1 化学反応と熱 2 ヘスの法則 3 化学反応と光 第2編 第2章 電池と電気分解 1 電池 2 電気分解 | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | |
| 9月 | 第2編 第3章 化学反応の速さとしきり 1 化学反応の速さ 2 反応条件と反応速度 3 化学反応のしきり | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---|--------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第2編 第4章 化学平衡 1 可逆反応と不可逆反応 2 平衡状態の変化 3 電解質水溶液の化学平衡 | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 第3編 第1章 非金属元素 第2章 金属元素(I)-典型元素- 第3章 金属元素(II)-遷移元素- | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 第3編 第1章 非金属元素 第2章 金属元素(I)-典型元素- 第3章 金属元素(II)-遷移元素- | 一斉授業 | | | ○ |
| | | レポート 小テスト、単元テスト | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 3月 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 理科 | | 科目名 | 生物 |
|--------------------|--|----|-----|-------|--------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 『生物』(実教出版) |
| 3 | 選択 | 4 | 120 | 補助教材 | 『アクセスノート 生物』(実教出版) |
| 授業の概要 | 細胞と分子、代謝、遺伝情報の発現、生殖と発生、生物の環境応答、生物群集と生態系、生物の進化、生物の系統などについて学習する。 | | | | |
| 学習到達目標 | 生物や生命現象への関心を高め、科学的に探究する能力と態度を養うとともに、生物学の概念や原理・法則、最新の知見について深く、系統的に理解する。 | | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | 生物学の基本的な理念や原理・法則の理解を深め、必要な実験・観察などを行ないながら、科学的に探求しようとしていくことができる。 | | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|-------|------|------|------|--|--|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | 課題提出 | 授業姿勢 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 60 | 30 | 10 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 30 | 10 | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | 30 | 50 | | | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|------------------|-----------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 1章 生物の進化 | 一斉授業 | ○ | | |
| | 1節 生命の起源と細胞の進化 | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | 2節 遺伝子の変化と進化のしくみ | ワーク演習 | ○ | | |
| 5月 | 3節 生物の系統と進化 | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | 2章 生命現象と物質 | ワーク演習 | ○ | | |
| 6月 | 1節 細胞と分子 | 一斉授業 | ○ | | |
| | 2節 生命現象とタンパク質 | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | 3節 代謝 | ワーク演習 | ○ | | |
| 7・8月 | 3章 遺伝情報の発現と発生 | 一斉授業 | ○ | | |
| | 1節 遺伝情報とその発現 | グループ学習 ワーク演習 | | ○ | ○ |
| 9月 | 2節 発生と遺伝子発現 | 一斉授業 | ○ | | |
| | 3節 遺伝子を扱う技術 | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|---------------|-----------------|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 4章 生物の環境応答 | 一斉授業 | ○ | | |
| | 1節 動物の反応 | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | 2節 動物の行動 | ワーク演習 | ○ | | |
| 11月 | 3節 植物の成長と環境応答 | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | 5章 生態と環境 | ワーク演習 | ○ | | |
| 12・1月 | 1節 個体群と生物群集 | 一斉授業 | ○ | | |
| | 2節 生態系 | グループ学習 ワーク演習 | | ○ | ○ |
| 2月 | これまでの学習のまとめ | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |
| 3月 | これまでの学習のまとめ | 一斉授業 | ○ | | |
| | | グループ学習 | | ○ | ○ |
| | | ワーク演習 | ○ | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 基礎国語 |
|----------------|-------|--|-----|-------|----------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | プレゼミ総合国語(浜島書店) |
| 授業の概要 | | 辞書やIT機器を活用しながら、問題集での演習を通して語彙を増やしたり、目的や場に応じた言葉遣いや文体を身に付けたりすることで、表現する能力を向上させる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 言葉の持つ意味を正確に理解し、組み合わせながら自分の考えを的確に表現できる。現代用語や慣用語などを巧みに取り入れた効果的な表現ができる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | さまざまな場面で使用し得る基本的な語彙や言い回しを実用的に用いる力。主体的に学習ツールを用いて調べたり、まとめ伝える力。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|-----|-------|--|-----|
| | 小テスト | 授業姿勢 | 提出物 | 単元テスト | | 合計 |
| 知識・技能 | 50 | | | 50 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | | 50 | 50 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 25 | 50 | 25 | | | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|--------|---|---|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | ・チェックリスト基本編(小テスト) 同音異義語・対義語 慣用語・ことわざ ・プレゼミ総合国語基本編(第1回～第4回) | 相手に伝えることを意識して、正しい字形でわかりやすい文章を書く。 辞書やIT機器を用い、語句の意味や使用方法を調べることで、語彙の理解と定着をする。 | | ○ | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| 5月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第2回 場にふさわしい言葉遣い(敬語表現) | 敬語表現を正しく理解し、使用する。 | | ○ | ○ |
| 6月 | ・チェックリスト必修編(小テスト) 熟語の読み書き、熟字訓 ・プレゼミ総合国語基本編(第5回～第8回) | 正しい筆順や楷書で文字を書き、正しい字形を身につける。 書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に生かす。 | ○ | | ○ |
| | | | | ○ | ○ |
| 7・8月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第3回 手紙の書き方I(暑中見舞い) | 様々な通信文の形式、形態について理解する。 | ○ | | ○ |
| 9月～10月 | ・チェックリスト完成編(小テスト) 同訓異字、難読語 ・プレゼミ総合国語必修編(第1回～第4回) | 辞書やIT機器を用い、語句の意味や使用方法を調べることで、語彙の理解と定着をする。 | | ○ | ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|---|--|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第4回電話の応対 | 場面にふさわしい言葉遣いを考える。適切な言葉遣いでロールプレイをする。 | | ○ | ○ |
| 11月 | ・チェックリスト完成編(小テスト) 四字熟語 ・プレゼミ総合国語必修編(第5回～第8回) | 正しい筆順及び楷書で文字を書くことで、正しい字形を身につける。 様々な通信文の形式、形態について理解する。 | ○ | | ○ |
| 12・1月 | ・プレゼミ総合国語対策編 第3回手紙の書き方3(年賀状) | 言葉への興味・関心をもち、積極的に問題集に取り組む。 | | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国語 | | 科目名 | 古典講読 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | |
| 授業の概要 | | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方から自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 | | | |
| 学習到達目標 | | 古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 目標を持ち、自らの意思で前向きに取り組むことができる。 与えられた課題や宿題などに進んで取り組み、不明な点を調べて解決できる。 | | | |

| 観点別評価 (%) | | | | | | |
|---------------|------|------|--------|------|--|-----|
| | 授業姿勢 | 活動観察 | ワークシート | 課題提出 | | 合計 |
| 知識・技能 | | | 30 | 70 | | 100 |
| 思考・判断・表現 | | | 30 | 70 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 50 | 50 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|------------------------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 「浦島太郎」の内容の変化を 読み取り、比較する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 『伊弉保物語』と 『因幡物語』を 読み取り、比較する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 『世説新語』漢楚抗争と 三国時代を 読み取り、比較する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 『世説新語』漢楚抗争と 三国時代を 読み取り、比較する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理して発表する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考えて発表する。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つけ発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 『伊勢物語』 「筒井筒」「東下り」を 読み取り、比較する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|------------------------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 『伊勢物語』 「筒井筒」「東下り」を 読み取り、比較する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理して発表する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考えて発表する。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つけ発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 『百人一首』「恋の歌」における 男女の心理を比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 『三国志』「赤壁の戦い」を正 史と演義で比較研究する | 興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 数学 | | 科目名 | 実用数学 |
|----------------|-------|--|-----|-------|---------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| 3 | 選択 | 4 | 120 | 補助教材 | 演習と整理 完成ワーク 数学(増進堂) |
| 授業の概要 | | 数学Ⅰ・Aの学習内容や就職試験問題について補助教材の問題集を利用して授業を展開する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 数学Ⅰ・Aや義務教育で学習したあらゆる数学の問題の復習を通して、数学的な考え方を養うとともに、学力の定着を図る。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 問題演習を通じて、「課題を理解し、解決への必要なアプローチを考え、解を導く」ことを目標に、主体性と探究心、継続力を養う。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|-------|------|---------|------|-------|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | レポート・課題 | 授業姿勢 | ノート記入 | 合計 |
| 知識・技能 | 90 | 10 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 10 | 20 | | 10 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | 30 | 30 | 20 | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 9 数と量の文章問題 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・文章問題を読み解き、立式と計算の演習を行う | | ○ | ○ |
| | 10 割合の文章問題 | | | ○ | ○ |
| | 11 速さの文章問題 | | | ○ | ○ |
| 5月 | 12 規則性などの文章問題 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・1次関数や2次関数について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | 13 1次関数とグラフ | | ○ | ○ | ○ |
| | 14 2次関数とグラフ | | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 15 図形と角 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・図形と計量について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | 16 合同な図形 | | ○ | ○ | ○ |
| | 17 相似な図形 | | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 18 円 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・図形と計量について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | 19 図形の面積 | | ○ | ○ | ○ |
| | 20 三平方の定理の利用 | | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 21 立体の体積と表面積 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・場合の数と確率、データの分析について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | 22 三角比 | | ○ | ○ | ○ |
| | 23 場合の数 | | ○ | ○ | ○ |
| | 24 確率 | | ○ | ○ | ○ |
| | 25 データの分析 | | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---------------|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 1 数の計算 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・数と式について復習し、問題演習を行う | ○ | | ○ |
| | 2 式の計算 | | ○ | | ○ |
| | 3 因数分解 | | ○ | | ○ |
| 11月 | 4 約数と倍数 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・数と式について復習し、問題演習を行う | ○ | | ○ |
| | 5 平方根の計算 | | ○ | ○ | ○ |
| | 6 1次方程式、連立方程式 | | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 7 2次方程式 | ・説明・問題演習・板書 ハ ワーク・グループワーク・調べ学習 ・2次方程式・不等式について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | 8 不等式 | | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 国際理解 | | 科目名 | ワールド・スタディーズ |
|----------------|-------|--|-----|-------|--|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | なし |
| 3 | 選択 | 4 | 120 | 補助教材 | <small>【地歴科】新編高等学校(帝国書院) 【英語科】Oxford Read & Discover3 Wonderful Water (教研出版)</small> |
| 授業の概要 | | 世界の現実を目に向け、全ての人のために責任ある生き方をするのに必要な知識・技能・姿勢を身につけるための学習をする。地歴教員と英語教員が両分野の内容を相互に関連させながら授業を行う。英語分野では英語テキスト(CEFR A1)で理解を深め、英語プレゼン等により発信力を高める。 | | | |
| 学習到達目標 | | 人間の尊厳、世界の文化の多様性、地域各地に見られる貧困や格差等の現状・原因を理解し、それらの課題の解決方法について互いに意見を出し合い模索することができる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 学習内容や他者の意見を踏まえ、自分自身がどのように課題に関わっているかを理解し、どのように解決していくかを述べることができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|--------------|------|------|------|--|--|--|-----|
| | 小テスト | 活動評価 | 授業姿勢 | | | | 合計 |
| 知識・技能 | 50 | 50 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 50 | 50 | | | | | 100 |
| 主体的に取り組む学習態度 | | | 100 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|------------------|--------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 地球環境問題の考察 | 内容理解 | ○ | | ○ |
| | 世界の国名、地理を知る | 意見交換、作業 | | ○ | ○ |
| | 水に関する考察 | 課題演習 | ○ | | ○ |
| 5月 | 地歴分野 世界や日本の地理の理解 | 意見交換、作業 | | ○ | ○ |
| | 英語分野 小テスト | | ○ | ○ | |
| 6月 | 英語分野 プレゼンの取組 | プレゼン準備、練習、本番 | ○ | ○ | ○ |
| | 世界の人口問題の考察 | 内容理解、作業、意見交換 | | ○ | ○ |
| 7・8月 | 地歴分野 小テスト | テスト | ○ | ○ | |
| | 世界の食糧問題の考察 | 内容理解、作業 | ○ | | ○ |
| | 世界の農業、日本の農業 | 内容理解、作業、意見交換 | | ○ | ○ |
| | 英語分野 小テスト | | ○ | ○ | |
| 9月 | 英語分野 プレゼンの取組 | プレゼン準備、練習、本番 | ○ | ○ | ○ |
| | 地歴分野 小テスト | テスト | ○ | ○ | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|----------------|--------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 資源問題に関する考察 | 内容理解、作業 | ○ | | ○ |
| | エネルギー問題の考察 | 内容理解、作業、意見交換 | | ○ | ○ |
| | 英語分野 プレゼンの取組 | プレゼン準備、練習、本番 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 地歴分野 小テスト | テスト | ○ | ○ | |
| | 英語分野 小テスト | | ○ | ○ | |
| 12・1月 | 民族問題の考察 地歴分野作業 | 内容理解 | ○ | | ○ |
| | 英語分野 プレゼンの取組 | プレゼン準備、練習、本番 | ○ | ○ | ○ |
| | 地歴分野 小テスト | テスト | ○ | ○ | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 数学 | | 科目名 | 数学C |
|----------------|-------|--|-----|-------|------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 最新 数学C(数研出版) |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | 3ROUND 数学C(数研出版) |
| 授業の概要 | | 1年間通して、数学Cの第1章 ベクトル、第2章 複素数平面の2領域を学習する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | ベクトル、複素数平面、式と曲線の理解とともに、横軸・縦軸を使いこなす創造力と探究心、ノートやプリント演習などの作業に集中して取り組む主体性を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|-------|------|---------|------|-------|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | レポート・課題 | 授業姿勢 | ノート記入 | 合計 |
| 知識・技能 | 80 | 20 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | | 20 | | 20 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 10 | 30 | 30 | 30 | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|--|---|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル 1. ベクトル 2. ベクトルの和 | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・ベクトルの和・差・実数倍 について理解する | ○ | | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| 5月 | 3. ベクトルの差 4. ベクトルの実数倍 小テスト(ベクトルの演算) | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・ベクトルの成分と内積について理解する | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 7. ベクトルの内積 8. 内積の性質 小テスト(ベクトルの内積) 単元テスト(平面上のベクトル) 第2節 ベクトルと平面図形 9. 位置ベクトル | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・ベクトルの成分と内積について理解する | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 10. ベクトルと図形 11. ベクトル方程式 小テスト(図形と方程式) 単元テスト(ベクトルと平面図形) | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・位置ベクトルとベクトルを用いた図形や方程式について理解する | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 第3節 空間のベクトル 12. 空間の座標 13. 空間のベクトル 小テスト(空間ベクトル) 14. ベクトルの成分と演算 | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・空間ベクトルについて理解する | ○ | | ○ |
| | | | ○ | | ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|--|---|-------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 15. ベクトルの内積 16. 位置ベクトル 小テスト(空間ベクトルの演算) 17. 空間図形への応用 単元テスト(ベクトルと空間図形) | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・空間ベクトルと空間図形 について理解する | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| 11月 | 第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の和と差 小テスト(複素数の計算) 3. 複素数の極形式 | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・複素数平面について理解し、 複素数の計算ができる | ○ | | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| 12・1月 | 4. ド・モアブルの定理 5. 複素数と平面図形 単元テスト(複素数平面) | ・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・ド・モアブルの定理を用いた 複素数の計算ができる | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 理科 | | 科目名 | 化学・生物基礎研究A |
|--------------------|-------|--|-----|-------|--------------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | ①『新編 化学基礎』(数研出版) ②『新編 生物基礎』(数研出版) |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | なし |
| 授業の概要 | | 化学基礎・生物基礎の全分野を改めて学習し演習することで、化学・生物の基本的な概念や原理・原則を理解する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。 生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 化学の基本的な概念、原理・原則と日常生活との関連性を見出し、物質とその変化に関心を持つことができる。生物学の基本的な概念、原理・法則から日常生活や生物としての自分自身に関心を持つことができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|------|--|--|-----|
| | 小テスト | レポート | 活動評価 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 30 | 50 | 20 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 10 | 50 | 40 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 50 | 50 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | オリエンテーション・班決め | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | | ○ |
| | 原核細胞と真核細胞 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 料理と化学 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | DNA抽出実験 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 物質の同定 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 酵素の活性実験 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 植生 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 定量実験 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 雪の結晶構造 イオン化傾向 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 理科 | | 科目名 | 化学・生物基礎研究B |
|--------------------|-------|--|-----|-------|--------------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | ①『新編 化学基礎』(数研出版) ②『新編 生物基礎』(数研出版) |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | なし |
| 授業の概要 | | 化学基礎・生物基礎の全分野を改めて学習し演習することで、化学・生物の基本的な概念や原理・原則を理解する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。 生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 化学の基本的な概念、原理・原則と日常生活との関連性を見出し、物質とその変化に関心を持つことができる。生物学の基本的な概念、原理・法則から日常生活や生物としての自分自身に関心を持つことができる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|------|--|--|-----|
| | 小テスト | レポート | 活動評価 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 30 | 50 | 20 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 10 | 50 | 40 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 50 | 50 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | オリエンテーション・班決め | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | | ○ |
| | 原核細胞と真核細胞 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 料理と化学 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | DNA抽出実験 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 物質の同定 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 酵素の活性実験 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 植生 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 定量実験 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 雪の結晶構造 イオン化傾向 | ①一斉授業 ②演示実験 ③実験計画作り ④生徒主体の実験 ⑤考察・プレゼンテーション作り ⑥発表 | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 保健体育 | | 科目名 | トレーニング |
|--------------------|-------|--|-----|-------|--------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | なし |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | なし |
| 授業の概要 | | トレーニングの原理や原則、基本的な理論を学ぶと同時に、各種のトレーニングを実際に行い、体力の向上を目指します。評価は実技の取組状況や計測したタイム、ワークシートや小テストを用いて行います。 | | | |
| 学習到達目標 | | トレーニングの原理や原則、基本的な理論を理解し、説明することができる。各種トレーニングの意義や効果、ポイントをふまえてトレーニングの実技を行うことができる。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 上向きな心で、各種トレーニングに意欲的に挑戦し努力ができる。 学習した内容を幅広く活用できるようになる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|--|--|--|-----|
| | 授業姿勢 | 課題提出 | 小テスト | | | | 合計 |
| 知識・技能 | 40 | 30 | 30 | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 30 | 40 | 30 | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 40 | 40 | 20 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|----------------|------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | トレーニングの原理・原則 | 講義 | ○ | | |
| | トレーニング計画の立案 | 講義・グループワーク | | ○ | |
| | ウォームアップとクールダウン | 講義・実践・振り返り | ○ | ○ | |
| 5月 | 柔軟性向上トレーニング | 講義・実践・振り返り | | ○ | ○ |
| | スピード向上トレーニング | 講義・実践・振り返り | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 小テスト | 小テスト・レポート | ○ | ○ | |
| | スピード向上トレーニング | 講義・実践・振り返り | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | アジリティトレーニング | 講義・実践・振り返り | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | | | | | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---------------|------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 持久力向上トレーニング | 講義・実践・振り返り | ○ | | ○ |
| 11月 | 筋力トレーニング理論・実践 | 講義・実践・振り返り | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | 筋力トレーニング理論・実践 | 講義・実践・振り返り | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 理科 | | 科目名 | 地学基礎 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|--------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 地学基礎 新訂版(実教出版) |
| 3 | 選択 | 2 | 60 | 補助教材 | ビジュアルプラス地学基礎ノート改訂版(実教出版) |
| 授業の概要 | | 教科書、動画教材を使用した授業を中心として、実験実習を行う。小単元ごとに小テスト、単元ごとに単元テストを行い評価する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、北海道の地理と関連付けて、科学的に探究することができる。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 地学の基本的な法則を理解し、自然現象にあてはめて考えることができる。科学的な自然観を身につけ、自らの考えを的確に表現できる。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|-------|------|------|------|------|--|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | レポート | 課題提出 | 授業姿勢 | | 合計 |
| 知識・技能 | 60 | 40 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 20 | 20 | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 10 | 20 | 40 | 30 | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|--|---------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 1章 地球の構成と運動 1節 地球の構造 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト | ○ | ○ | |
| 5月 | 1章 地球の構成と運動 2節 プレートの運動 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト | ○ | ○ | |
| 6月 | 1章 地球の構成と運動 3節 地震と火山 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト・単元テスト | ○ | ○ | |
| 7・8月 | 2章 大気と海洋 1節 大気の構造と運動 2節 大気大循環 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト | ○ | ○ | |
| 9月 | 2章 大気と海洋 3節 海洋の構造と海水の運動 4節 日本の四季の気象と気候 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト・単元テスト | ○ | ○ | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---|---------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生 2節 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト・単元テスト | ○ | ○ | |
| 11月 | 4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層のつき方 2節 化石と地質時代の区分 3節 古生物の変遷と地球環境 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト・単元テスト | ○ | ○ | |
| 12・1月 | 5章 地球の環境 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学 | プリント学習 | | | ○ |
| | | ワーク演習 課題 レポート | | ○ | ○ |
| | | 小テスト・単元テスト | ○ | ○ | |
| 2月 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 3月 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 地理歴史 | | 科目名 | 世界史探究 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|-------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 高等学校 世界史探究(第一学習社) |
| 3 | 選択 | 3 | 90 | 補助教材 | 世界史探究ノート (第一学習社) |
| 授業の概要 | | 世界の歴史のおおよその流れを理解し、基礎・基本的な内容を身につける。あわせて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題追求する活動を通して公民としての資質・能力を育成する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 複数の歴史的な事象を比較して、その歴史的背景、原因、影響や結果を整理し、考察できるようにする。 過去の事象を学ぶことによって現代の課題を解決する手がかりを見つけ、自分なりの見通しをも | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 基本的な歴史用語を理解する読解力と文章を比較・検討して考察する力を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|------|--|--|-----|
| | 定期試験 | プリント | 小テスト | 授業姿勢 | | | 合計 |
| 知識・技能 | 80 | 20 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 80 | 20 | | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 20 | 20 | | 60 | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|-------------------|-----------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 第1編 世界史へのまなざし | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | 第2編 諸地域の歴史的特質の形成 | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | 第2章 古代文明の歴史的特質 | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 5月 | 第2章 古代文明の歴史的特質 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 6月 | 第3章 諸地域の歴史的特質 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 7・8月 | 第3章 諸地域の歴史的特質 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 9月 | 第3編 諸地域の交流・再編 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | 第2章 結びつくユーラシアと諸地域 | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|-------------------------------------|--------------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第2章 結びつくユーラシアと諸地域 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 11月 | 第4編 諸地域の結合・変容 第2章 世界市場の形成と諸地域の結合 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 12月 | 第2章 世界市場の形成と諸地域の結合 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと グループワークに参加すること | | ○ | ○ |
| 1月 | 第5編 地球世界の課題 | 講義を聞いて、ノートを取ること | ○ | | |
| | | 探求ノートに取り組むこと | | ○ | ○ |
| | | グループワークに参加すること | | ○ | ○ |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 数学 | | 科目名 | 総合数学 |
|--------------------|-------|---|-----|-------|---------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | |
| 3 | 選択 | 3 | 90 | 補助教材 | アクセスノート 数学I+A(実教出版) |
| 授業の概要 | | 数学I・Aについて補助教材の問題集を利用して授業を展開する。 | | | |
| 学習到達目標 | | 上級学校進学のために、数学I Aの解法の復習を通じて、高校数学の更なる定着と入試問題を解く学力を高める。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 上級学校で学ぶ専門科目の中には、高校数学の解法力が必要とされるものもある。問題演習を通じて、「課題を理解し、解決への必要なアプローチを考え、解を導く」ことを目標に、主体性と探究心、継続力を養う。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|-------|------|---------|------|-------|--|-----|
| | 単元テスト | 小テスト | レポート・課題 | 授業姿勢 | ノート記入 | | 合計 |
| 知識・技能 | 90 | 10 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 60 | 10 | 20 | | 10 | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 20 | 30 | 30 | 20 | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|--|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | <数学A>3章 図形の性質 20角の二等分線と線分の比 21三角形の重心・内心・外心 22正多角形・正多角形の定理 23円周角の定理とその逆 24円に内接する四角形 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数A)図形の性質について復習し、問題演習を行う | ○ | | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 25円の接線と弦のつくる角 26方べきの定理、2つの円 <数学I>1章 数と式 03乗法公式 04展開の工夫 05~08因数分解 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数I)数と式について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | | ○ |
| | | | | ○ | ○ |
| | | | | ○ | ○ |
| 6月 | 10実数・平方根 11根号を含む式の計算 12分母の有理化 13式の値・二重根号 14不等式の性質、1次不等式 15連立不等式、不等式の応用 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数I)数と式・不等式について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | <数学I>2章 2次関数 20 2次関数のグラフ 23~24 2次関数の最大・最小 25~26 2次関数の決定 27~28 2次方程式と実数解の個数 29~30放物線とx軸の位置関係 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数I)2次関数について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 31~32 2次関数のグラフと2次不等式 33連立不等式 <数学I>3章 図形と計量 34~36 三角比とその利用、性質 37~38 三角比の拡張と符号 39~40 三角比と角の大きさ、相互関係 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数I)図形と計量について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 41~42 正弦定理・余弦定理 43 三角形の面積 44 三角形の内接円と面積、内接四角形 45 空間図形への応用 <数学A>1章 場合の数と確率 05~07 順列 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数I)図形と計量 ・(数A)場合の数と確率について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | 11~14 事象と確率、確率の基本性質 15 独立な試行の確率 16 反復試行の確率 17 条件付き確率と乗法定理 18 期待値 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数A)場合の数と確率について復習し、問題演習を行う | ○ | ○ | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | <数学I>5章 データの分析 46 データの整理、代表値 47 四分位数と四分位範囲 48 分散と標準偏差 49~50 データの相関、外れ値、仮説検定 51 変量の変換 | ・説明・問題演習・板書 ・ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ・(数I)データの分析について復習し、問題演習を行う | ○ | | ○ |
| | | | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 地理歴史 | | 科目名 | 地理探求 |
|--------------------|-------|--|-----|---------|--------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 新詳地理探求(帝国書院) |
| 3 | 選択 | 3 | 90 | (教科書扱い) | 新詳高等地図(帝国書院) |
| 授業の概要 | | ・ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、オセアニア、日本の地誌について概観する ・世界の気候を大まかに理解し、気候変動が与える影響についても考えさせる | | | |
| 学習到達目標 | | ・2年生の学習を踏まえ、世界各地の地誌について、作業も行い理解を深めさせる ・日本を含めた気候を大まかに理解し、昨今の気候変動についても考えさせる | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | 基本的な地理知識を理解する読解力と文章を比較・検討して考察する力を身につける。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|--|--|--|-----|
| | 授業姿勢 | 課題提出 | 活動評価 | | | | 合計 |
| 知識・技能 | 70 | 30 | | | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 70 | 30 | | | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 30 | 30 | 40 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|---|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 第1部 系統地理 第1章 自然環境 地球環境と人間・地形・気候 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | 第2章 資源と産業 農林水産業・食料・資源問題 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 6月 | 第3章 交通・通信と観光・貿易 交通通信・観光・貿易と経済圏 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 7・8月 | 第4章 人口、村落・都市 人口問題・都市問題 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | 第5章 生活文化、民族・宗教 衣食住・民族問題・国家の領域と 領土問題 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|---|--|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第2部 地誌 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 中国・韓国・ASEAN諸国 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 11月 | インド・西アジア・アフリカ | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | EU・ロシア・アメリカ合衆国 ラテンアメリカ・オーストラリア 第3部 現代世界における日本の 国土像 | ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 家庭 | | 科目名 | 保育基礎 |
|----------------|-------|---|-----|-------|------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 保育基礎(教育図書) |
| 3 | 選択 | 3 | 90 | 補助教材 | 保育基礎ワークノート(教育図書) |
| 授業の概要 | | 子どもの発達の特長や発達過程、家族の役割や子育て支援に関心をもち、人生における「子どもを産み育てること」について考えを深め、実践的な態度を身につける。 | | | |
| 学習到達目標 | | 子どもの発達の特長や発達過程、子育てなどに関する基礎的な知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。 | | | |
| 求められる力(目指す生徒像) | | 子どもの発達の特長や発達過程、子育てに関心をもち、今後の生活に活かすことができる力を養う。 | | | |

観点別評価(%)

| | 単元テスト | 授業姿勢 | 作品実技 | 課題提出 | 合計 |
|---------------|-------|------|------|------|-----|
| 知識・技能 | 30 | 30 | | 40 | 100 |
| 思考・判断・表現 | 10 | 30 | 40 | 20 | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | 50 | | 50 | 100 |

年間学習計画(前期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|------|-----------|--|-------------|----------|-------------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | 1章 子どもの保育 | ・保育の意義 ・保育の環境 ・保育の方法 | ○ ○ ○ | | ○ ○ ○ |
| 5月 | 2章 子どもの発達 | ・子どもの発達の特長 ・乳幼児の発育と発達 | ○ ○ | ○ | ○ ○ |
| 6月 | | | | | |
| 7・8月 | 3章 子どもの生活 | ・子どもの健康と生活 ・子どもの食事 | ○ ○ | | ○ ○ |
| 9月 | | ・子どもの衣服と寝具 ・子どもの健康と安全 ・調理実習(子どものおやつ) | ○ ○ | ○ | ○ ○ ○ |

年間学習計画(後期)

| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
|-------|-----------|--|--------|----------|---------|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 4章 子どもの福祉 | ・保育にみる児童観 ・児童福祉の理念と法規・制度 | ○ ○ | ○ | ○ ○ |
| 11月 | 5章 子どもの文化 | ・子どもの文化の意義 子どもの文化を支える場 ・調理実習(子どもの軽食) | ○ ○ | ○ | ○ ○ |
| 12・1月 | | ・子どもと遊び ・子どもの表現活動 ・調理実習(子どもの食事) | ○ ○ | ○ | ○ ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

令和8年度 シラバス・年間学習計画

| 教科名 | | 情報 | | 科目名 | 情報の表現と管理 |
|--------------------|-------|--|-----|-------|---------------------------------|
| 学年 | 必修/選択 | 単位 | 総時数 | 使用教科書 | 『情報の表現と管理』(実教出版株式会社) |
| 3 | 選択 | 3 | 90 | 補助教材 | 『30時間でマスター Excel2021』(実教出版株式会社) |
| 授業の概要 | | 情報を収集、整理、加工、表現するなどの活動を適切に行うために必要な基礎的な知識と技術を身につけ、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用することができる能力と態度を育てる。 | | | |
| 学習到達目標 | | 情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報を目的に応じて適切に表現することや管理し活用できることを目指す。 | | | |
| 求められる力 (目指す生徒像) | | コンピュータやアプリケーションソフトウェアなどを目的に応じて活用する方法を身に付けること。情報の表現や管理に情報手段を積極的に活用することができること。 | | | |

| 観点別評価(%) | | | | | | |
|---------------|------|------|------|--|--|-----|
| | 授業姿勢 | 課題提出 | 小テスト | | | 合計 |
| 知識・技能 | 10 | 40 | 50 | | | 100 |
| 思考・判断・表現 | 10 | 50 | 40 | | | 100 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 50 | 50 | | | | 100 |

| 年間学習計画(前期) | | | | | |
|------------|------------------|---|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 4月 | オリエンテーション | ・コンピュータ教室の利用方法を理解する ・コンピュータ教室に関する基本操作を練習する | ○ | | ○ |
| | 第1章 情報社会と社会の表現 | 小テスト | ○ | ○ | |
| 5月 | ・メディアと情報の表現 | ・メディアの種類と特性を理解する | | ○ | ○ |
| | ・情報社会における情報の表現 | ・情報通信端末の種類と役割を理解する | | ○ | ○ |
| 6月 | 第2章 メディアの特性とその表現 | 小テスト | ○ | ○ | |
| | ・文字・図解による表現 | ・わかりやすい文書の作成技法を身につける | | ○ | ○ |
| 7・8月 | ・実習Ⅰ | ・文書の基本的な構成を理解する | ○ | ○ | ○ |
| | ・データサイエンスと表現 | ・データサイエンスとは何かを知り、データ分析の流れを理解する。 ・データサイエンスの手法を知り、表計算ソフトなどで処理を行う | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | ・情報発信 | ・発想法と情報を整理する方法を理解する | | ○ | ○ |
| | ・実習Ⅲ | ・プレゼンテーションソフトを起動し、スライドを作成する | ○ | ○ | ○ |
| | 単元テスト | | ○ | ○ | |

| 年間学習計画(後期) | | | | | |
|------------|----------------|----------------------------|-------|----------|---------|
| 時期 | 単元名・教材名 | 主な学習活動 | 評価の観点 | | |
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的学習態度 |
| 10月 | 第3章 情報の管理 | ・ドキュメンテーションの定義と重要性を理解する | | ○ | ○ |
| | ・ドキュメントの意義と重要性 | 小テスト | ○ | ○ | |
| 11月 | ・音による表現 | ・音声および音楽データの特性を理解する | | ○ | ○ |
| | | ・音のデジタル化のプロセスと圧縮について理解する | ○ | ○ | ○ |
| 12・1月 | ・静止画による表現 | ・デジタル画像の基礎と特性を理解する(画素、解像度) | | ○ | ○ |
| | 単元テスト | ・色の表現と圧縮について理解する | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |